

2024年6月28日

相良村「瀬戸堤自然生態園」での田植ボランティア参加について

当行は、SDGsに関する包括連携協定を締結している三井住友海上火災保険株式会社を傘下を持つMS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社（取締役社長 舩曳 真一郎）が、地域共創流域治水プロジェクト（※）における生物多様性の保全活動の一環として行う、相良村「瀬戸堤自然生態園」で取り組む荒廃農地の再生活動により復活した水田での田植作業に、ボランティアとして参加いたしました。

当行は今後も、さまざまな取り組みを通じて、地域の発展に積極的に貢献してまいります。

【田植作業の様子】（2024年6月16日（日）、相良村「瀬戸堤自然生態園」にて）



（参考）[株式会社肥後銀行と三井住友海上火災保険株式会社とのSDGsに関する包括連携協定について](#)

※地域共創流域治水プロジェクト

令和2年7月豪雨により被災した球磨川流域を対象に、地域の10年後を見据えた「地域共創流域治水」を解決策とし、「災害後に於いても安心・安全に住み続けられ、豊かな環境と若者が残り集う持続的な地域の実現」を目指す取り組み。当行は幹事機関として参画。

【具体的な取り組み内容】

- ・2021年、熊本県立大学・熊本県・当行が幹事機関となり、民間企業・大学等25者とのパートナーシップによる地域の社会課題解決や地域経済の発展を目的とした、自律的・持続的な地域産学官共創拠点を設立。
- ・当行は、主に産業化に関する分野において、スタディツアーの企画・販売、「くまもと雨庭パートナーシップ」設立支援、プランター型雨庭の開発販売支援、地域小水力発電所設置支援、IoTベンチャー・木材活用ベンチャー起業支援等に取り組む。
- ・MS&ADインシュアランスグループホールディングスは、プロジェクト当初より相良村での荒廃農地再生活動に取り組んでおり、復活した水田での稲作や希少生物の保護などに取り組んでいる。

《本件に関するお問い合わせ》

肥後銀行 地域振興部

担当：平道・金田

電話：096-326-8609